

はくぶつかんネット

第2号

～ GINOWAN MUSEUM ～



博物館イメージキャラクター
“天女ちゃん”とその仲間たち

2001年 春

宜野湾市立博物館 発行

TEL : 098-870-9317
FAX : 098-870-9316



← しんぞうさ あてんばしひ
「新造佐阿天橋碑」

市指定史跡。1820年、首里王府によって
建立された（現在の伊佐市宮住宅の東側）。
字の判読が困難なほど碑面が摩滅（すれて
消えること）していたため、昨年4月に復元。
この石碑は、博物館に移管されている。

第1回新収蔵品展のご案内

市立博物館がオープンして、1年と9ヶ月余り。
その間寄贈や収集によって多くの貴重な資料が、博物館の収蔵品として新たに加えられました。市立博物館ではその資料を市民に公開する場として、3月1日（木）から第1回新収蔵品展を開催しています。

今回展示するのは、平成11年度中に受入れた（そのほとんどは寄贈によります）115点もの資料です。どのような資料があるのか少しだけ紹介しますと、今では懐かしい生活道具や着物、漁具、硬貨や紙幣、焼物、戦争資料などなど。

後は見てのお楽しみとしましょう。第1回新収蔵品展は4月1日（日）まで。

企画展

くらしの焼物

(平成12年度事業の報告 その4)

中国や日本、東南アジアとの交流の中から生まれ、発展した沖縄の焼物は多彩であり、その焼物のもつ美しさ見事に惹かれる人も多いようです。

市立博物館では1月27日(土)から2月18日(日)まで、「くらしの焼物」と題した展示会を行いました。

17世紀から戦後までの貴重な焼物を窯場別、用途別に展示。見学者からは焼物の素晴らしさの他、イラストを多用した説明文が見やすく分かりやすく、親しみやすい展示だったとの感想が寄せられました。



▲ “くらしの焼物展”の会場



わらば一体験じゅく

(平成12年度事業の報告 その5)



▲ 沖縄そば作り

昨年6月から開校した、わらば一体験じゅくが2月17日で全9回の体験を終了し閉校しました。

市内の小学生が年間を通して様々な体験を行うことで、地域について学んでもらいたいというのが、わらば一体験じゅくの趣旨です。参加した子ども達にとって、ほとんどが初めての体験ばかりだったと思います。

前半の内容はすでにネットの第1号で報告したので、後半の内容を報告しますと、大山田イモ畑での野鳥の観察、田イモの収穫、土器や勾玉作り、沖縄そば作りを体験しました。

詳しい内容を知りたい方は市立博物館までご連絡下さい。

わらば一体験じゅくを通して、子ども達が郷土の歴史や文化、自然に興味を向けるきっかけになれば大成功です。

新年度のわらば一体験じゅくは平成13年5月に募集し、6月から翌年の2月まで同じメンバーで行っていきます。次はどんな子ども達に会えるか今から楽しみです。

田イモ作りの伊佐實雄さん(大山区)、玩具作りの石川真雄さん(真志喜区)、わらざうり作りの山城聖市さん(真志喜区)、豆腐作りの喜屋武菊さん(新城区)・

比嘉文子さん・島崎真由美さん(真志喜区)、野鳥観察の嵩原健二先生(県立博物館学芸員)、貴重な体験ができました。ご協力ありがとうございました。



▲ 閉校式後の記念撮影

講演会

◎市立博物館では平成11年度の開館以来、年に2回講演会を開催しております。まずは宜野湾市を知ろう、興味や意識を高めようというねらいで、宜野湾市に関することで、入門編といった内容の講演会を企画するように努めています。将来は宜野湾市についての理解をより深めるばかりでなく、広げていきたいと考えています。

平成11年度には、第1回目として講師に金城功先生(沖縄大学教授)をお迎えしての「ケービン(軽便)鉄道～その跡を歩いて」で、沖縄鉄道の歴史やエピソード・市内の鉄道跡のお話を、第2回目は遠藤庄治先生(沖縄国際大学)をお迎えして「ぎのわんの羽衣伝説」で、市内の異類婚姻説話(人間以外のものが人間と結婚する話)の紹介・解説をして頂き、好評でした。

平成12年度には、第1回目に「宜野湾市の身近な動物と希少種」、第2回目に「宜野湾の島クトゥバ」の講演会を開催しました。以下にその報告をします。



第1回講演会

「宜野湾市の身近な動物と希少種」

(平成12年度事業の報告 その6)

当日2月23日(金)の夜はあいにくの天気でしたが、活発な質疑応答がなされ、内容の濃い講演会となりました。

講演では地質や地形的な環境条件により、生物層が決まっいて自然が形成されている事や、宜野湾市の自然の概要など、生物だけでなく自然について豊富に学ぶことができました。また自然と人間の関わり方についてのお話や、人間の関わりが自然に大きな影響力を持っている現代で、どのようにして自然と関わっていけるのかという提言、生物のライフサイクルの話、市内の希少種の話など興味深く、これからの課題として考えていくことが大切だと実感しました。



▲ 講演会の様子

参加者からは、「市内だけでなく、本島における貴重な動植物の生態系、地質を学ばせてもらい、改めてその大切さと複雑な絡み合いを実感致しました」、「自然に対する新たな視点、意識を持つことができた。」、「自分の足元を見つめる、知ることが大切」、「貴重なお話、スライドでの説明など解りやすかった」、「人の生活、植層、地層の関係で長年の問題が解けた」などの感想がありました。

第2回講演会

「宜野湾の島クトゥバ」

(平成12年度事業の報告 その7)

「島クトゥバ」という言葉を聞いたことがあるという方は多いかと思います。今回、市立博物館でも宜野湾の各地区の言葉という意味合いから「島クトゥバ」という言葉を使用しました。講演では「島クトゥバ」は本来のウチナーグチでは聞いたことがないということでした。公共で使用されているからといって疑問も持たずに使うのは誤った情報を流すことになるのです。

講演では主に宜野湾で使われている動植物の名称や、その生物にまつわる言葉を中心に話が進められ、ウチナーグチを知らない世代でも分かりやすく、面白さを知ることができました。名称の付け方は、その地域ごとの捉え方に基づいており、そこから先祖の物の考え方の一端に触れる感じがしました。また、たった15年くらいで急速に言葉が変化し、本来の言葉が失われているということが分かり、複雑な思いが残りました。

参加者の感想には、「初めて聞く方言が多かった。数年で方言が変化しているのに驚いた」、「方言を残したいと思うが、段々と消えていくものかなと思う。次の世代はどういう風に方言と関わっていけるか不安」などがありました。

「宜野湾の島クトゥバ」の講演会は、2月24日(土)の午後2時から4時まで行いました。



▲ 講演会での一コマ

ちょっと一言 “講演会”

アンケートの結果によると、平成12年度講演会の参加者は2回とも市内在住者が過半数を占めていました。また参加者の世代では30代が最も多く、次に60代・20代・40代の順でした。

講演内容の感想以外にも、「今回の講演内容をシリーズ化してほしい」、「今後も地域に関連した講座をお願いします」など、今後の講演に対してのご要望もたくさんありました。

これからも参加者の要望に応じていける企画を行っていきたいと思います。

□講演会で使用したレジュメは、博物館のロビーにあるアンケートコーナーに置いてあります。

□その他にも講演会を撮影したビデオもあります。

当日参加できなかった方、興味のある方はお気軽に職員までおたずね下さい。

資料の寄贈、ありがとうございました

○平成12年10月以降から平成13年3月15日までの寄贈や収集による受入れ資料を紹介します。

- 民具 (調理具・農具・馬具・漁具・ランプ・ニクブク・はかり
バリカン・包丁とき・蚊張・衣類・裁縫箱・瓦・石敢當)
- 地図・証書・軍票
- 紙幣・硬貨・切手
- 機械
- ビン・袋 (米、メリケン)
- 焼物 (厨子甕・シンガーマ・八重山焼) などがあります。

寄贈者の記載は寄贈を受けた日順

山川功良さん(中城村)・伊佐武雄さん(大山区)・仲本栄子さん(中原区)
花崎吉雄さん(新城区)・仲里稔さん(真栄原区)・城間貞雄さん(野嵩二区)
真喜志康德さん(南風原町)・翁長良明さん(那覇市)・比嘉秀盛さん(宇地泊区)
晶納秀次さん(鹿児島県)・当銘栄一さん(宇地泊区)

～ 寄贈してくださった方々、ご協力ありがとうございました ～

○上記の寄贈・収集で受入れた資料の他、平成12年3月末日までに寄贈して頂いた資料は、第2回新収蔵品展(開催期間は平成13年6月15日から7月9日まで)にて展示します。 どうぞご覧下さい。

市立博物館への資料の提供をお願いします。

市立博物館では、宜野湾を知ることのできる文化や歴史、自然に関する様々な資料の提供を呼び掛けています。

宜野湾市出身の移民に関する資料や、普天間基地に関する資料、年中行事で使われた道具、昔のくらしが分かる道具や写真、古い地図・写真・書類や手紙・映像などなど。まずは博物館にご相談下さい。

連絡先：870-9317

これからの事業あんない (平成13年度)

開催月	日	曜日	内容	期間
5月		土か日	講演会(未定)	
6月	9日	土	わらばー体験じゅく開校	翌年2月まで
	15日	金	第2回新収蔵品展	7月9日まで
7月	15日前後		燻蒸の為、臨時休館日あり	
			企画展「大山の自然(仮名)」	8月まで
9月			市内の小中学生の文化財図画作品展	
10月			IT講習(会場提供)	11月まで
11月		土か日	講演会(未定)	
1月			企画展「宜野湾の食と年中行事(仮名)」	

※ 日時は未定の場合がありますので、変更に関してはご了承下さい。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1カ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載致します。



宜野湾市立博物館の案内



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日
午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日、
年末年始(12月29日～1月3日)
※その他、燻蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※団体は20名以上から